

市史跡 下原古窯跡群の保存について

1 史跡の概要及び価値

- (1) 指定年月日 平成15年3月24日 春日井市指定文化財 史跡
- (2) 所在地 春日井市東山町字平橋2336番地1、2336番地3、2337番地
- (3) 指定面積 4,251m²
- (4) 歴史的価値

6世紀はじめ頃、須恵器・埴輪を生産し、味美二子山古墳等に供給した古窯である。現存する愛知県内最古にして、中でも天井の一部が残存する3号窯は全国的にみても貴重である。歴史的価値が極めて高く、重要な遺跡である。

2 保存の状況

(1) 経年劣化

平成元年の発掘調査終了直後から、保存処理（合成樹脂による強化）を継続しているが、経年劣化が進行し、恒久的な保存が困難である。

(2) 竹根の侵入・虫害等

窯体保続区域への竹根の侵入、コケ類の繁茂、虫孔（巣穴）による表面剥離や侵食が生じている。

(3) 自然災害

仮設テントによる覆い屋では、大雨による雨水の流入や地下水圧、地震等への対策が不十分であるため、崩落等の危険を伴う。

3 保存に向けた検討

下原古窯跡群に関して、保存手法や歴史的価値などを改めて検討するため、検討委員会を立ち上げる。



下原古窯跡群保存状況



下原第3号窯 [左]平成元年の発掘調査当初・[右]現在の保存状況